

苫小牧自然環境保全審議会 第 25 期第 1 回 (R4.10.24 開催) 議事概要

- (1) 市長挨拶
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 会長、副会長の選出

- (4) 審議会の任務の概要とこれまでの活動概要

【委員からの主な質疑意見】

●菊地委員

自然環境保全地区についてももう少し知りたい。

→それぞれの地区の概要を説明。今年度の 2 か年は樽前ガロー地区、各 2 年ごとにそれぞれの地区を調査していく予定。第 26 期はトキサタマップを予定している。

- (5) 樽前ガロー地区のあり方について

【委員・事務局からの主な質疑意見】

●荒木副会長

樽前ガロー地区は駐車場が小さい、路上駐車が目立つ、不法投棄が多い、春先はヒグマの出没が多い（巡回中に痕跡に気づくこともあり、通報されていないことが多い）地域である。樽前ガローの危険性などに関しては広報に掲載など市と連携して行っていきたいと思うので皆さんも注意してほしい。

●武田課長（荒木副会長の意見の補足説明）

樽前ガロー地区には私有地で市が借りている土地がある。これまでは案内が不十分で認識していない市民の方が多かったので、今後は看板の設置など市民の周知を積極的に行っていききたい。（車は十数台程停めれる広さがある。）

同時に不法投棄、ヒグマの危険性の啓発も行っていききたい。

委員の皆さまには、以上のことを踏まえた上での樽前ガローの利活用についてご意見をいただけたらと思う。

●下夕村会長

観光地化しつつある樽前ガローについて、駐車場の問題、樽前ガローにどこまで近づけるのか（立入禁止の区域について）、自然環境を保護する視点からご意見をいただけたらと思う。

●菊地委員

樽前ガローは四阿はあるけどそこから樽前ガローが見えなかったり、よく写真でうつされる川辺箇所は、人工的に作られた道を通らなくては行けなかったり、溪流を歩くことは色々危険も備わっている。隣接地には民有地もあるかと思うが…。

→保全地区は元々民有地込みでの指定とされている。その点も踏まえての利活用を今後検討していきたい。

(6) その他（今後のスケジュールについて）

以上